

# Agnes



**山岡理事長 著書「平安女学院大学の奇跡」出版**

**日本おもてなし学会総会で千玄室大宗匠が基調講演**

**大学京都キャンパスにカフェ・高槻キャンパスにバス停をそれぞれ新設**

**中学校高等学校校舎 耐震工事完了報告**

**ホームカミングデー2016を高槻キャンパスで開催**

Agnes vol.73 March 2017

平安女学院広報誌アグネス 発行／学校法人平安女学院 〒602-8013 京都市上京区烏丸通下立売西入 TEL:075-414-8155(法人本部)

● 平安女学院校友会会員の皆様へ ●

## 校友会「DCゴールドカード」はお持ちですか?

年会費永久無料のクレジットカードに、ぜひご加入ください



● ゴールドカード

● ゴールドカードには次のような特典があります。

- ①ゴールドカード年会費通常10,000円が **永久無料**
- ②ポイントをためると素敵な **プレゼントと交換**
- ③ショッピング補償保険に **自動加入**
- ④海外旅行傷害保険(最高5,000万円)に **自動加入**
- ⑤空港で搭乗前後の **ラウンジサービスの利用** など

——加入ご希望の方は、校友センターまでご連絡ください。申込書をお送りします。——

### 校友会員とは?

校友会は、本学院卒業生と教職員を会員の中核とし、平安女学院を愛する多くの方々の力を結集させて、母校発展の支援と会員相互の親睦を図ることを目的としています。会員は、

- |       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 第1号会員 | 平安女学院大学・短期大学部・高等学校・中学校および各学校の前身校の卒業生 |
| 第2号会員 | 本学院の教職員(但し、第1号会員と重複する者は、第1号会員とする)    |
| 第3号会員 | 常任幹事会で推薦を受け、入会を許可された者                |
| 賛助会員  | 平安女学院を支援する法人または個人                    |

### 校友会会員証カード



● 会員証カード

校友会では、校友会会員証カードを発行しています。

校友会会員の皆様には、会員証により下記の特典をご利用頂けます。

- 特典1 学院独自クレジットカード(DC-VISAゴールドカード)に加入できます。
- 特典2 平安女学院斡旋商品の割引
- 特典3 図書館の利用(平安女学院大学京都キャンパス・高槻キャンパスとも)
- 特典4 食堂の利用(平安女学院大学京都キャンパス・高槻キャンパスとも)

校友会会員証の発行、校友会DCゴールドカードの「申し込み書」を希望の方は下記までご連絡ください。

〒602-8013 京都市上京区烏丸通下立売西入 平安女学院 校友センター  
TEL 075-414-8162 kouyukai@heian.ac.jp



聖公会京都教区の高地主教の司式による記念礼拝に統いて、山岡理事長による挨拶、永年勤続の表彰、諸活動で学院に貢献した方々に対するアグネス賞の表彰が行われました。

1月21日（土）聖アグネス教会で、創立142周年記念式典及び永年勤続・アグネス賞の表彰式を行いました。

### 創立142周年記念式典を挙行

その後、場所を法人会議室へと移し懇親会が開かれ、表彰者や教職員が集まり、ケーキを食べながら楽しく談笑しました。

### 「第41回京の夏の旅」で 有栖館を公開

7月9日（土）～9月30日（金）、京都ならではの「学校に残る文化財」や「お屋敷・庭園の美」などをテーマに、通常間限定で特別公開される「第41回京の夏の旅」で、本学の有栖館も対象施設となり、一般の方に向け特別に公開され、約18,000名の方がお越しになりました。

## PUBLICITY NEWS

平安女学院の魅力がテレビで紹介されました。



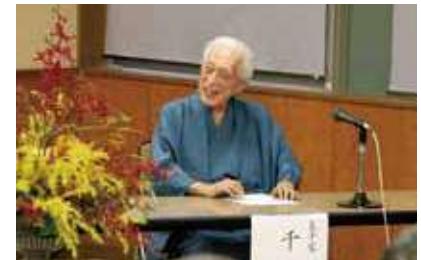
**5月11日**  
テレビ大阪「おとな旅あるき旅」  
山岡理事長が出演され、有栖館について解説



**7月10日**  
読売テレビ「クチコミ新発見!旅ぶら」  
有栖館の紹介と合わせ、デヴィ夫人が初代セーラー服を着用し、導入の経緯を説明



**7月8日**  
毎日放送「VOICE」(有栖館)  
「京の夏の旅」の開催の案内と見どころを紹介



基調講演では本学名誉学院長である裏千家千玄室大宗匠が「もてなしでないもてなし」と題し、日本の「情の文化」や「思いやりのこころ」について話され、「表面上の目に見えるおもてなしだけではなく、眞のおもてなしをこの学会で学んで欲しい」と締めくくりされました。



200名を超える出席者を前に瀬戸内寂聴氏による特別講演  
ペンクラブ京都例会開催



10月1日（土）、「日本ペンクラブ京都例会」が開催されました。一部講演会では、作家の瀬戸内寂聴さんが「書くために生きた」と題して講演され、モア一杯の語り口調で、超満員の会場を大いに盛り上げていただきました。有栖館に会場を移した二部懇親会では、浅田次郎会長の開会の挨拶に始まり、多くのご来賓とともに和やかなひとときを過ごしました。

11月19日（土）、平安女学院大学Mホールにて日本おもてなし学会総会・基調講演が行われました。

講演会終了後はエディ・カフエにて交流会が催され、先日発表された「忘れられないおもてなしコンテスト」の表彰も行われました。

## 最高顧問 千玄室大宗匠が「情の文化」、「思いやりのこころ」について講演

## 歴史と伝統に育まれたキリスト教精神に基づく教育理念のもと、『心の偏差値』が高い女性の育成を目指します

学校法人 平安女学院  
理事長・学院長・大学学長 **山岡 景一郎**



「成功の秘訣は成功するまでやり遂げること!」  
大学改革と自身の半生について  
**山岡理事長が著書を出版**

昨年12月22日(木)

山岡理事長・大学学長執筆の「平安女学院大学の奇跡」が出版されました。それに伴いまして1月17日(火)19時より、大垣書店烏丸三条店にて出版記念サイン会が開催されました。約100名の方が参加され、大盛況のサイン会となりました。

昨年夏から施工された中高校舎耐震改修工事も本年3月で完工し、歴史的建造物の趣を残しながら安心安全の向上を図ることができました。

昨年末に出版した拙著『平安女学院大学の奇跡（PHP研究所発行）』にも書いておりますとおり、平安女学院では『心の偏差値』が高い女性を育成する教育を実践しております。

大学の方でも、茶道・華道・着付けなどの授業を通して、日本人女性としての『おもてなしの精神』を養い、社会に出てからも活躍することができる『躊躇・心得・愛』を身に付けた、『貴品女性』の育成に努めています。その

平安女学院は、長い歴史と伝統に育まれたキリスト教精神に基づく教育理念を受け継ぎながら、教職員が学生・幼稚園の教員、保育士などに多数の学生が就職していることを含め、4年連続で就職率100%を達成しております。平安女学院は、長い歴史と伝統に育まれたキリスト教精神に基づく教育理念を受け継ぎながら、教職員が学生・幼稚園の教員、保育士などに多数の学生が就職していることを含め、4年連続で就職率100%を達成しております。

今後とも、学院に対しまして、深い理解と、温かく力強いご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

また、1月21日(土)13時より出版記念会・祝賀会を開催しました。

名譽学院長である裏千家千玄室大宗匠、山田啓二京都府知事、門川大作京都市长をはじめ、多くの国会議員、府議會議員の先生方、そして各界より多くの方々にご臨席いただき、お祝いの言葉を頂戴しました。会場は和やかなムードに包まれ、谷口副学長による万歳三唱にてお開きとなりました。

**山岡理事長・学院長・大学学長のオピニオン活動**  
「日本の行方—京都の心のかたち」と題し  
天龍寺で講演

4月6日(水)、天龍寺主催の「平成二十八年度観桜会」において、山岡理事長・大学学長が「日本の行方—京都の心のかたち」と題して講演しました。

日本は現状を古代ローマの帝国時代～中世ヨーロッパ諸国が成り立ちに例え「国が繁栄しても、文化を大切にしなければ本の意味での国力は上がらない」という話を交えながら、日本の進むべき道について語りました。

教育界のリーダーを対象に  
学校改革のサクセスストーリーを講演

7月2日(土)、兵庫県私学会館で公益財団法人未来教育研究所主催の「エグゼクティブセミナー」が行われました。学校運営に携わる代表者を対象にしたこのセミナーでは、本学の山岡理事長・大学学長が、

京都大学と京都市教育委員会の共催による中学生向けのゼミ「京都大学ジュニアキャンパス2016」において、山岡理事長・大学学長が、京都大学特任教授の立場で講義を行いました。「つい話したくなる京都の珍しい話」と題して、90分間にわたり、「京都の文化」「京都人とは?」「地名の不思議」などについてわかりやすく説明し、最後の質疑応答では中学生から活発な質問が相次ぎました。

理化学研究所理事長・京都大学前総長の松本紘氏とともに講師として招かれ、講演を行いました。

第一部に登壇した山岡理事長・大学学長は「学校を蘇らせる」と題し、理事長就任時から現在までに手がけてきた数々の改革実績を具体的に紹介。「みなさんなら、代表者としてこれらの課題をどう解決されますか?」と問い合わせながら講演を進めました。

第二部では、松本紘氏が「人を樹てる」と題し、学校での教養教育と家庭での家庭教育の重要性などを中心に、日本人の教育のあり方を説きました。



# 学生の要望からできました エディ・カフェがオープンしました

従来の学生食堂イメージを覆すような「学生本位の学生食堂」を目標に、国際観光学部の学生への聞きとり調査を実施。その結果、伝統を活かした、女子大らしい華やぎと落ち着きある憩いのスペースとして、学生の要望に応える「日本一の学生食堂」が誕生しました。ここでは、食事や団らん、授業の予復習もでき、また、本学の掲げる「貴品女性」を目指すマナー教育などの実践の場として活用することもできます。



教わった食事のマナーをさっそく実践しながら、今まで味わったこともない最高のローストビーフを味わいました。

## 受験生を対象に 「貴品女性のお茶会」を開催

9月17日（土）今年、京都キャンパスにできたエディ・カフェのお披露目を兼ねた「貴品女性のお茶会」を開催しました。当日はケーキやお菓子、紅茶などが振るまわれ、着付け体験やアロマのミニ講座などに自由に参加しカフェの雰囲気を楽しんでいただきました。



2016年5月11日 読売新聞(エディカフェ)

テレビ・新聞でも報道  
6月14日(火)NHK「京いちにしき」

同番組の「ガクメシ」コーナーで、平安女学院大学のエディ・カフェとレセプションストラップのテーブルマナーレッスンなどの模様が放送されました。その他、複数の新聞でも取り上げられました。



高槻キャンパス係者、近隣住民の方にお声がけしバス停竣工式を執り行う予定です。2017年4月のダイヤから運行予定で、更に通学が便利になります。



大学敷地内に高槻市バスの  
バス停ができます！



5月31日（火）に国際観光学部4年の「ジエネリックスキル」の授業の一環で、フランス料理マナー講習会が行われました。料理は、パリのレストラン「マキシム・ド・パリ」で修行し、京都ホテルの総料理長などを経験され、昨年「現代の名工」を受賞された堀田貞幸シェフが担当。シェフ自ら切り分けられるローストビーフを前に、講習会に参加した学生たちは、

テープルマナーを学ぶ  
「フランス料理お食事会」

5月31日（火）に国際観光学部4年の「ジエネリックスキル」の授業の一環で、フランス料理マナー講習会が行われました。

料理は、パリのレストラン「マキシム・ド・パリ」で修行し、京都

## 卒業式



2016年3月16日（水）、平安女学院大学第13回卒業証書・学位記授与式を行いました。式典では、学長から、卒業生183名一人ひとりに卒業証書を授与しました。併せて、成績優秀者に学長賞、課外活動などの各方面で活躍した学生にエディ賞が贈られました。山岡学長は式辞で、「愛嬌・意欲・運・笑顔・恩を大切にする『あいうえお人間』となつて、これからも頑張つてください」と激励しました。

翌17日（木）は、卒業生のために有栖館を開放。国の文化財に指定されている屋敷や門、庭園などを背景にスナップ撮影会が行われました。その後、京都ブライトンホテルへ移動し卒業記念パーティーが

2016年3月16日（水）、平安女学院

行されました。学部ごとに行われたパーティは、卒業企画委員会を中心に趣向を凝らして企画で大いに盛り上りました。

## 入学式



4月1日（金）、2016年度平安女学院大学・平安女学院大学短期大学部入学式を、京都キャンパスのアグネスホールで執り行いました。入学式のあと、各学科に分かれての新入生ガイダンス、記念撮影などを行いました。学生たちはこれ

から始まる大学生活へ期待と緊張が入り交じるなか、新しい仲間たちとの出会いに笑顔が溢れていきました。

## 宿泊オリエンテーション



も教育学部のチームがリレーとともに総合順位でも上位を独占しました。

### 今年度は高槻キャンパスで

#### 合同開催「平女祭2016」

5月20日（金）、京都府立体育館（島津アリーナ）で、運動会を行いました。開会式で選手宣誓が行われたあと、全員で準備体操。プログラムは、全員参加競技の「ウルトラクイズ」からスタートしました。

午前の部は大縄跳び・玉入れと続き、中間順位発表では保育科の4チームが揃って一歩リード。昼のお弁当をみんなで食べた後、午後の部はパン食い競走・綱引きに続いて、学長特別ゲーム「教職員を探せ!!」が行われました。このゲームでは、学生たちがそれぞれのキャンパスの教職員とも楽しく交流できました。締めくくりは、学科対抗リレー。白熱の競技が展開され、子ども



毎年恒例の「子どもランド」では人形劇やステージ、チャペル、ウイリアムズホールは両キャンパス合同開催で、各学科の特徴を生かしたものとなりました。メインステージ、チャペル、ウイリアムズホールの3会場で部活動・サークル発表が行われ、メインステージでは大道芸・有志発表や京都キャンパスでおなじみとなつている「貴品女性は誰だ!?」コンテストなどが行われました。

### 教員免許状更新講習を実施

8月3日（水）から19日（金）に2016年度の教員免許状更新講習を京都・高槻の両キャンパスで開講し、たくさんの先生方が受講されました。茶道の体験や歌舞練場での講義など京都の伝統文化を学ぶ講座や子ども教育学部の学びを活かした教育法の授業など全10講座を開講。予約開始日に締め切りになる講座もありました。



今年度も入学式の翌日から一泊二日で新入生宿泊オリエンテーションを大津プリンスホテルで実施しました。1日目は学長の講話や上級生たちによる各学科の紹介やレクリエーションが、2日目は各学科に分かれて教員や上級生と交流を深めるプログラムが行われました。緊張気味だった新入生も先輩たちが用意してくれたプログラムで打ち解けあい、楽しんでいました。新入生の門出にふさわしい熱氣あふれるオリエンテーションとなりました。

京都・高槻両キャンパスにて  
イルミネーション点灯式を行いました！

11月24日（木）、京都キャンパスにてイルミネーション点灯式が行われました。

曾我部委員長の挨拶のあと、カウントダウンに合せてスイッチを押すと、設置されたイルミネーションが一斉に点灯されました。京都キャンパスイルミネーションの今回のテーマは「煌めきの世界へようこそ! ~It's showtime!!~」。テントの中にはピエロやゾウのオブジェが配置され、その光景はまさに冬のサーカスショーでした。



ツズゴスペル部の合唱があり、キヤンパス内はきらびやかで幻想的な雰囲気に包まれました。

学生・園児・教職員が協力し  
恒例のクリスマス・カンタータを

12月18日（日）高槻キャンパス ウイリアムズホールで「クリスマス・カンターラ」を開催しました。今年は国際観光学部の学生も多く参加し、高槻キャンパスの学生と協力してクリスマス・カンターラを作り上げました。



# 学生会主催のクリスマス祝会を開催

クリスマス祝会(京都)

喜びにあ  
いました。



第1部はハンドベルの演奏から始まり、聖歌隊、オーケストラによるクリスマスソングの演奏と無言劇によつて、イエス・キリストの誕生の次第を表しまし  
た。

歌い、クリスマス

属幼稚園の園児  
もかわいらしい  
歌を披露してくれ  
れ、会場はクリ  
スマスを迎える  
喜びにあふれて  
いました。

12月14日（水）エディカフエにてクリスマス・パーティを開催しました。パーティを始める前に、聖アグネス教会でクリスマス礼拝を行い、キリストのご誕生

クリスマス祝会(高槻)

A group of students are gathered around a long table covered with a white cloth, eating and socializing during a school meal. The table is filled with various dishes, including what looks like fried chicken and vegetables. The students are smiling and looking towards the camera or each other. In the background, there are large windows and a modern interior.



12  
月  
15

A group of approximately 15-20 students are gathered in a classroom or common room for a Christmas party. They are dressed in casual winter clothing, with some wearing Santa hats. In the center, a young woman in a blue jacket and Santa hat holds a white tray with various small dishes. Other students are standing around her, some holding glasses. The room has a festive atmosphere with decorations visible in the background.

挨拶の後

Forest～丘の上のネコの大冒険～」のストーリーをつづったプロジェクトショットマツピングが教会の壁面に映し出され、その後、カウントダウンでイルミネーションが点灯されました。寒空の下、光溢れるキヤンパスの光景に感嘆の声が上がりました。その後、ハンドベル部の演奏とキ

祝祭。」のテーマに合わせて店内をカラフルなオブジェで彩りました。

現代の観光学では、地域活性化に寄与する実践が重視されています。国際観光学部でも地域連携活動に力を入れ、学生とともに地域社会と協同してさまざまな取り組みを行っています。

### 夏季休暇を利用して、 フィールドワークや インターンシップなどに参加

ビジネス・インターンシップでは、主に2・3年次生が旅行社・ホテルといった観光ホスピタリティ関連の企業・団体で10日間の研修を行っています。9月16日に受入企業の方々を招き、実習報告会

は、ブランド検討委員会に学生が参加しており、隣接する塩谷古墳のパンフレットの作成を行っています。

また、奈良県大和茶の活性のための連携事業も開始しました。この他、祇園祭への協力など、さまざまな地域連携活動を行っています。



と懇親会も開催しました。観光フィールドワーク(国内)では、8月22～26日に島根県・鳥取県にて研修を行いました。また、奈良県大和茶の活性のための連携事業も開始しました。



秋学期からは、中国からの交流留学生Ⅷ期生11名が編入学しました。11月に行われた平女祭は、高槻キャンパスでの合同学園祭となりました。1年生の模擬店、2年生のバルーンアートとともに盛況となりました。アグネス・イルミネーションも多くの来場者でにぎわいました。ハロウィン企画、クリスマス会といったイベントも賑やかに開催されました。

これからも、コンパクトな環境を生かした丁寧な教育を通じ、学生の成長を支援していきたいと思います。

国際観光学部でも地域連携活動に力を入れ、学生とともに地域社会と協同してさまざまな取り組みを行っています。

### 地域の素晴らしさを広める取り組み

京都市交通局とともに地下鉄利用の促進や地域活性化に関わる活動を行っています。活動の中心となるのは、地下鉄の駅毎に、駅周辺の見どころ・お店などを学生達の視点で紹介するフリー・ペーパー「きゅんきゅんKYOTO」の作成です。ジェネリックスキルの授業で、1・2年生が取材・執筆を行っています。また、一日駅長にも学生が選ばれ、地下鉄でのポスターにも採用していただきました。

修学旅行ガイドとして、旅行会社等と

連携し学生が奈良・京都を案内しています。また、兵庫県の「バス旅ひょうご」モニターツアーに学生が参加し、その様子がテレビ報道されました。

モニターツアーに学生が参加し、その様子がテレビ報道されました。

下京区高辻柳馬場にある「京町家旅館さくら・うるし邸」にある外国人向けの案内所「京都ツアーラウンジ」にて、留学から帰国した本学学生が観光案内のボランティアを行っています。留学で培った英語力と観光の専門知識を生かし、外国人観光客に向けて英語で観光地の案内などを行っています。

### 地域活性化のための取り組み



京都市中央市場第一市場と連携協定に基づいて、第一市場のイベント「食彩市」をお手伝いしています。また、「京の和食と和菓子」という本学の授業でもご協力いただいています。ハイウエイテラス京丹波整備事業で



### 語学を活かした取り組み

下京区高辻柳馬場にある「京町家旅館

こうした子ども教育学部の指導は学年を重ねるごとに学生間の団結力として育つていきます。上級生の様子を見た。

### 運動会での団結力



本学部では「人材力」として実践力、教育力、コミュニケーション力の強化を図っています。実践力はインターんシップなどで体験的学びを重視し、教育力は各授業を通して習得しますが、コミュニケーション力は保護者対応などの人間に関わる資質能力として特に重要な力です。そのため、一人ひとりの学生の適性や履修等に応じて、きめ細かい指導・助言・援助に努めています。特に、就職試験対策としての面接指導については、画一的な模範解答ではなく、個性に応じた返答ができるよう徹底した個別指導を行い、公立保育職希望者の高い合格率につながりました。

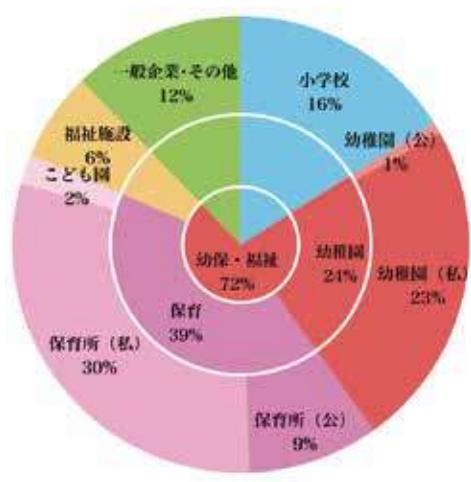
### 学生の個性を伸ばす 徹底した個別指導

て下級生は学び、下級生が見ているからより上級らしい態度になるということもあります。その成果が発揮されるのが全学をあげて行われる運動会です。学年ごとのクラス単位での団体競技（大縄跳び）やクラスからの選抜メンバーでの学科対抗種目（リレー、綱引き、玉入れ）などの総合得点で子ども教育学科が上位を独占しました。



自国の文化を語る力、日本の伝統を未来へと継承する力の育成として、世界に通用する教養の一つとして、裏千家のご協力のもと茶道の科目を開講してきました。この間、茶道の科目を4年間履修し続けた学生は27名でした。これらの学生には茶道指導者としての「上級資格」と「学校茶道指導者適格書」および「引次」の許状が与えられ、小学校教諭、幼稚園教諭の免許とともに「茶道を教える先生」という新たな魅力が加わりました。

### 文化や伝統を大切にする心



2009年に地元、高槻市から大きな期待を集めて開設された子ども教育学部は、今年で10年を迎え、3月には第5期生が卒業します。この5年間で

### 100%の就職率 ー在学生を勇気づける、抜群の就職実績

約90%が専門的・技術的職業である教育・保育・福祉の分野に進路を選び、教員免許・保育士資格を生かした専門職に就きました。特に公立の小学校・幼稚園・保育所・子ども園への就職者は年々増加し、今年度は小学校8名・保育職12名が内定しています。今年度を含めて小学校では39名、保育職では24名が仕事を就いています。

子ども教育学部では3年次から始まる実習にむけて1・2年次に高槻市内の公立の保育所・幼稚園・小学校でインターナンシップを行っていますが、これには地域を知るという効果もあります。地域との深いつながり



る様々な行事にも1年次からボランティアとして参加しています。このように地域に根差した様々な活動がようやく浸透してきた成果として、いろいろなイベントにお声がかかるようになりました。また、夏休みに開催している「子ども教室」は募集開始と同時に満席になりました。なる人気ぶりです。様々な行事を通して学生たちにもボランティア精神が育ち、教育・保育の専門職を目指す学生の使命感が充実してきたように見受けられます。

**「あなたの夢、叶えます！」**  
**地域と連携しながら小規模大学の利点を最大限に發揮し、一人ひとりの進路を最後まで支援しています。**

子ども教育学部



専門資格試験に挑み、厳しい審査を経て46名が合格しました。また、20名は2級指導資格を手にしており、受講者全員が指導資格を取得することができました。音楽の楽しさを子どもに伝える資格をもつた人材として、今後、保育の場で大いに活躍してくれることでしょう。

### 保育科子どもまつり

2月2日(木)に、保育科子どもまつりを開催し、附属幼稚園児および学内の子育て支援施設「どんぐりの森」の親子20組を招いて、2年生は舞台発表、1年生はコーナー遊びをおこないました。2年生は「保育内容総合研究」の授業のなかで、2年間の学びの成果を表せるような取り組みとして、学生自ら企画・運営に携わり、「スイミー」(レオ・レオニ原作)を影絵で演じました。制作に充てられる時間が短く、練習の時には仲間同士の意見の食い違いもありました。が、試行錯誤しながら一つのものを創りあげ、終演時には安堵と達成感に満ちた笑顔が広がりました。



もたちに楽しんでもらえるかを考え準備しました。すつかり恒例となつたこの行事は、子どもたちにも好評で、学生にとっては、実際の子どもを前にして実践力を積むことのできる有意義な学びの機会となっています。



短期大学部保育科では、人の命を預かる専門職としての力量を身につけていくために、座学によって基本的な知識を得ることを大切にしつつ、多くの実践的な学びを取り入れています。

### ピアノ演奏

保育・幼児教育に、音楽、とりわけピアノの技術は欠かせません。入学時には初心者でも、2年生になれば実習や就職試験で自信をもって演奏できることを目指して、日々の授業や個人レッスンに、学生たちは真摯に取り組んでいます。1年生のピアノの授業では、学期末等に年4回、舞台を備えた大教室において1年生全員の前で演奏発表会をおこなっています。緊張のあまり、普段は間違わずに弾けるところもうまくいかなかつたり、



集中力が途切れそうになつたりすることもありますが、日頃の練習の成果を發揮できる貴重な場となっています。

## 保育科の学び



2月1日に、「幼稚園・保育園のためのリトミック」1級指導資格試験が実施されました。この資格は、後援会より補助金をいただき、特定非営利活動法人リトミック研究センターの指定校認定を受け、授業の一環として開講しているものです。今年度は、51名の2年生が1級指

# 生徒が安全で安心に学べる環境へ 耐震補強工事完了報告

西日本では30年以内に東海、東南海を震源とする地震が起ころる確率が70%といわれ、阪神淡路、東日本、熊本と震度7に達する地震が起きている中、校舎の耐震補強工事は喫緊の課題となつていました。

本校では3年前より耐震診断などを行い、耐震補強工事の準備を進めてきましたが、着工となつた今年度は短い期間で、効率的に充分な工事を行うため、2学期の間を仮校舎に移転し、集中して工事を行う体制をとりました。

仮校舎は、中学校は元西陣小学校、高校は元今熊野小学校の校舎を京都市からお借りすることとなりました。元今熊野小学校は京都駅の真東に位置し、清水焼の釜がたくさんある焼き物の街のなかにあります。坂道を登る通学路の登校は大変でしたが、眺望が良

く東山の自然に囲まれた環境で学習ができました。

仮校舎での学校生活では生徒、保護者の皆さんにもご不便をおかけしましたが、おかげさまで、耐震補強工事につきましては1月31日(火)に無事完了することができました。またこの工事期間に、これまで懸案であったクラブボックスのリニューアル、その他必要な補修も行うことができました。

耐震補強は、建物にプレス(補強部材)を入れたり、壁の補強などを行つたりしました。外見を変えることなく、きれいな形で建物の内側に補強を行つています。工事を行つた部分の壁や床が新しくなつて、これで安心して勉強に取り組む環境を整えることができました。



## 西陣での生活

猛暑の中、大汗をかき生徒机や教卓などを一から運び込むところから始まつた西陣仮校舎での生活。一度は閉校となつた元西陣小学校の校舎や講堂はあちこち手直しが必要でした。そこを教員・職員の区別なく、みんなで大掃除したり、壁

紙を貼つたりしながら、少しでも中学生が快適に過ごせるよう準備をし、なんとか2学期の始業式を迎えるました。

不便なことはありましたが、一方で西陣だからこそ経験できたこともたくさんありました。9月には中学単独での文化祭を開催。中学生徒会役員が中心となって、有志企画や生徒会企画で盛り上げてくれました。昼の時間には隣接する児童公園で同日に行われていた「西陣マルシェ」にお買い物にいったりもしました。



また地域の夏祭りに中学バトン部が出演したり、西陣の敬老会で箏曲部やコー

明治に建てられた当初の西陣小学校の校舎は1934年の室戸台風で全壊。その際、児童・職員約500名が下敷きとなり、41名の児童の命が犠牲に。この被災を乗り越え、その後立て直されたのが今回お借りした校舎でした。地域の方々のさまざまな思いとともに歴史を刻んできた、貴重な校舎をお貸し下さったことに感謝しながら過ごした日々でした。



ラス部が演奏したりするなど、地元と密着した活動もできました。11月には「西陣」にちなみ、1日限定で女性教職員が着物で過ごすという企画も行いました。いつもと違う先生方の姿に生徒たちも驚いていました。



1・2号館



ワインビー館（クラブボックス）

# 台湾修学旅行記

11月1日(火)～4日(金)、3泊4日の行程で台湾へ修学旅行に行きました。

当日、元気一杯で関西空港を出発し、3時間半で無事台北桃園空港に到着。生徒たちは、さっそく日本とは異なる景色や街並みに驚きの声を上げていました。

この日は、まず故宮博物館を見学しました。ガイドの説明をしっかりとメモを取りながら聴き、中国4千年の歴史を実感しました。

翌日は、台北郊外にある、カトリックの名門女子校、崇光女子中学との学校交流です。生徒たちは、修学旅行委員を中心について、話し合い、時間をかけて準備してきました。当日は、最初は緊張したもののが、すぐに打ち解け、たどたどしい英語・漢字の筆談で楽しく交流しました。「もうと英語を勉強しておけばよかった。」という声も聞かれました。

なかと思うようなきれいな形にできませんでした。本場の料理と食べ比べながら、楽しい時間を過ごしました。



午後からは、現地の大学生のお姉さんの案内で、グループに分かれて台北市内を見学しました。ちょっとカジュアルなカキ氷などを食べたり、思い思いの時間を過ごしました。この日の夜は士林の夜市に行きました。小さな店が所狭しとぎつり並び、お土産になりそうな雑貨が一杯あり、生徒たちは日本にはなさそうなものを見つけたようです。

3日目、ホテル出発時は良い天気でしたが、十份の山に近づくと雨。ローカル線の駅のそばの線路で、天燈上げをしました。大きな天燈に願いを書き、気球のように火をつけて天高くあげます。願いを神様に届けるそうです。その後、九份に到着。見晴らしの良いベランダのあるレストランで昼食をとり、自由行動。あの「千と千尋の神隠し」の映画の景色がそのままのちょっとエキゾチックな街並みを体験しました。

英語に親しみをもち楽しんでもらえる取り組み

## 3回目を迎える全学年対抗

### ライムタイムカルタ大会

2017年1月26日(木)に今年度で

第3回となるEnglish Rhyme-Time Carta(ライムタイムカルタ)大会が行われました。このカルタは中学1年～3年の英語の教科書に出てくる英単語で構成されており、全100首あります。たとえば「The little boy / enjoys his toy.」のように、上の句と下の句で韻(rhyme)が踏まれており、英文をただ暗記するのではなく、英語の音に親しみ楽しむことを目的として作られています。

勝つためには英語の基礎的な力であるリスニング力や語彙力のほかに、反射神経やチームワークも必要となります。主

に英語オーラルコミュニケーションの授業内で各クラスが練習を重ねてから、大会に挑みます。1チームは同クラスの3～4名で構成されており、トーナメント方式で勝ち進んでいきます。今年度は3年生が18チーム、2年生が9チーム、

1年生が12チームの計39チームで大会の

九份をあとに台北市内に戻って、フイールドワークをしました。かつての植民地支配の象徴であつた台湾総督府、独裁時代の爪あとを残している2・28平和公園などをめぐりました。そして、今日の夕食は、小籠包です。まずは、自分で作ることに挑戦。なか



最終日は、台北市民の信仰の厚い龍山寺を訪れました。日本のお寺のように線香を焚きお参りします。お守りもあります。その後、忠烈祠を訪れ、蔣介石の巨大な銅像を目の当たりに見ました。

4日間の行程を通じて、台湾の文化や歴史を見聞し、心に残る修学旅行になつたように思います。

20

幼稚教育進学  
コース

# 3年間の集大成 卒業ピアノ演奏会

1月28日（土）、明治館2階で幼稚教育進学コース1期生の卒業ピアノ演奏会を実施しました。

それぞれが曲を選び、一生懸命練習してきた成果を、保護者や教職員、同コースの1・2年生の前で発表しました。演奏曲目は、「エリーゼのために」や、「仔犬のワルツ」などのクラシックを中心とした。緊張と不安の中にも、3年間成長してきた証が、一つひとつの音として表れ、感動の演奏会でした。約半数がピアノ初心者でしたが、この3年間で本当によく頑張りました。1期生のみなさん、卒業おめでとう！

高校3年5組 江口 遥

入学した時、「初心者なのに弾けるようになるのか」という不安がすごくありました。しかし、先生方が優しく教えて

下さったから、ここまで弾けるようになります。多分、怒られてばっかりだとピアノ嫌いになつたと思います。丁寧にわかりやすく指導していただきおかげで、諦めずに頑張れたと思います。大学でも頑張ります！

高校3年5組 清水 夏帆

ピアノは授業の思い出の中で一番濃いものだったと思います。毎回テストの度に、気が重くなつて嫌だったし、連弾は楽しいけど責任感が大きくて大変でした。でもなぜか終わると、やって良かつた、次はもっと頑張らうって思えるのがピアノでした。先生には迷惑ばかりかけてしまつたけれど、ピアノだけではなくたくさんの大切なことを教えてもらいました。本当にピアノの授業があつて良かったです。



## 3年生 入学前教育

立命館  
コース

立命館コースの入学前教育は12月の出願後から3月の卒業式直前まで続きます。

入学前教育は、①入学まで基礎学力を充実する、②受動的スタイルから大学生として自律的な学びへと意識を転換する、③大学生活でのビジョンを形成する、の三点を目標とし、そのためによく企画、授業を設定しています。



12月19日（月）には立命館大学朱雀キャンパスの教室で、入学前ガイダンスをおこない、卒業生2名より、大学入学時の単位登録の方法から卒業までのビジョンをもつ重要性など、多岐にわたるガイダンスを受けました。各学部の入学前課題もだされ、学部から指示された方法で期限までの提出が義務付けられており、年末年始もしっかりと課題に取り組みました。文学部ならば、レポート作成後、文学部事務室にデータで期限までに送付

といった指示があり、各学部の課題は大学生活で必要なスキルの訓練となっています。



2月5日（日）

は大阪いばらきキャンパスで、プレゼンテーションで、英語学習」「大学の学び」「留学制度」エントランスディ

イ。提携校全体会集まり、午前中は「キャリア」「大学の学び」「留学制度」



校友会だより

附属幼稚園だより

# 未就園児親子登園クラス(てんしぐみ)が週2回に増えました

未就園児親子登園クラス(てんしぐみ)も開室から4年目を迎えました。

2016年度は希望者が多くありましたので、それまでは週1回金曜コースのみでしたが、週2回に増やしました。月曜

コースと金曜コースに、それぞれ15組の親子が登園し、幼稚園内でさまざまな遊びを楽しんでいます。

子どもがゆったりと遊ぶ空間を保ちながら、保護者の方々とお話しする時をもち、また保護者の方同士の交流の場としても居心地のよさを望んでいます。これ



からも、あたたかい子育て支援の場であり続けられるよう続けていきます。

## 自然観察林でオリエンテーリングをしました

11月30日（水）、参観日として保護者の方々に来ていただき、子どもと一緒に自然観察林でのオリエンテーリングを行いました。子どもはそれぞれにカードを持ち、保護者と一緒に観察林へ入り、地図

を片手に5か所に設けたポイントに向かってぶら下げてある紙を取つたり、葉や木

渡りをしたり、木に登つてぶら下げてある紙を取つたり、葉や木

渡りをした

1月18日（水）から

1月31日（火）まで

京都寺町のサテラ

イトスタジオに展

示され、来られた

方に見て頂くこと

ができました。

の実を使って作品を作ったりしていきます。ポイントを全てクリアするとメダルを受け取ることができ、子どもは大喜びです。五感をたくさん使いながら、観察林で自然物にいっぱい触れられた秋の一 日となりました。

## 自然物による染め物

年長組（ゆり組）の子どもたちは、さまざま自然素材を使って染め物を楽しんでいます。紫キャベツを煮出した汁でハンカチを染めたり、秋にはぐんぐりの帽子を煮出して染めたりしました。染める布は数か所を輪ゴムで絞り、染めていきます。染まった布の輪ゴムを外すと広がるきれいな模様に、子どもの表情が明るくなりました。その作品は、1月18日（水）から1月31日（火）まで京都寺町のサテライトスタジオに展示され、来られた方に見て頂くことができました。



# ホームカミングデー2016を高槻キャンパスで開催

2016年のホームカミングデーは、高槻キャンパスで開催された京都・高槻両キャンパス合同の大学祭「平女祭」と同日（2016年11月5日（土））に開催をいたしました。

平安女学院校友会総会には、卒業生含む約50名にご出席をいただき、2015年度決算・2016年度予算、次期役員の選任、会則改正などを審議・議決をしました。総会後は、「平女祭」にご参加

をいただき、懐かしいキャンパスで楽しいひと時を過ごしていただきました。



## パイプオルガンの音色に想いを馳せて ～聖アグネス教会オルガンコンサート～

校友会京都支部会を開催

9月22日（祝・木）、校友会京都支部

として、「パイプオルガンコンサート」を聖アグネス教会で開催しました。参加者59名と、多くの方々にお集まりいたしました。オルガン奏者中村祐子様の奏でる素敵なパイプオルガンの音色に包まれながら、穏やかな時間を過ごすことができました。

コンサートの後は、京都キャンパス室町館に今年オープンした平安女学院

大学「エディ・カフェ」にて語らいの時をもち旧交を温めました。



# 2016年度 主なイベント



## 編集後記

中学校・高等学校トピックスでも取り上げていますが、今年度京都キャンパス東側校舎の耐震工事が行われました。生徒の安全を図るとともに、将来に向けて伝統ある校舎を使い続けることにより、本学院の歴史をさらに刻んでいくための工事であると思っています。

さて、2017年度は大学の高槻キャンパス移転30周年、国際観光学部が開設10周年と節目の年を迎えます。140年を超える伝統ある本学院にとって新たなマイルストーンとなる一年に向かって、教職員一同さらなる魅力ある学院づくりに努めていきたいと考えています。

カバーストーリー  
*Agnes*  
vol.73

学生の要望から誕生したエディ・カフェ。外観は初代校舎の明治館(1895年)の意匠にならったグリーンの窓枠。ロートアイアンを施したエクステリアと造園植治と園芸部による「洋」の植栽が、外観を美しく彩ります。内観はパントリーとホールの間には、大きなステンドグラスのパーテーション。貴賓室やラーニングサロンもあり。メインホールには日本最古級のリードオルガンやクラシカルな応接セットなどをゆったり配置。学院開校時のダイニングテーブル&チェア、蓄音機を備えた貴賓室は、学生のオフィシャルなディナーパーティーなどに開放されます。

教育研究強化事業募金											
◆保護者	田染 万枝	西澤 廉祐	上田 勇人	鈴木 美奈子	長岡 正浩	森 口 正人	平田 花光	坂下 小野	淵上 高田	中川 西澤	波鳶 康文
◆同窓生	西井 初田	西井 和弘	岡本 洋子	畠野 寿子	若野 弥生	匿名希望5名	大藤 西川	齊藤 多田	多田 彰潮	西原 文昭	和田 康文
◆保護者	千 玄室	原川 博善	水永 豊美	玉田 充利	弦巻 良一	細見 和美	岡田 和樹	池原 稔	和氣 依子	和室 永尾徳太郎	松田 幸典
◆元教職員	中村 雅彦	中村 栄	井上文鴻堂	再生未来	法人	法人	株式会社	法人	法人都	槇 永尾徳太郎	貴子
◆教職員	松本 信二	松本 信二	(敬称略)	その他指定寄付	その他の指定	その他の指定	その他の指定	その他の指定	その他の指定	その他の指定	その他の指定

2016年4月1日～2016年12月31日までのご入金分(入金日順)

事業募金にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。感謝の意を表し、ここにご芳名を掲載させていただきます。このご厚志は教育・研究施設設備の充実に活用させていただく所存です。今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

# 平安女学院 事業募金